

7 かつ南畑表
フランス

食べるの大好きだより

2023.7.13 山内保育園 給食室

あおぐみキャンプ⁰行ってきました!

7月7日・8日に八瀬へキャンプ⁰に行ったあおぐみさんと一緒に、給食室からも参加させてもらいました。1日目の昼食は、お家の方の愛情がたくさんつまったおいしいオニギリを食べ、15時のおやつには子どもたちがグリーフ⁰毎に考えた果物を⁰で冷やして食べました。(パイナップル・バナナ・メロン・青りんご...)その後、グリーフ⁰毎にピザ生地⁰にトッピングをして石窯へ。私達の思いがけないようなオリジナルのピザが4種類出来上がり、とってもおいしかったです♡♡♡

職員は初めてソーセージ作りにも挑戦!! みんなたくさん食べてくれました!!
当日、残念ながらお休みの子どもたちもいましたか、
大人も子どもも野外ならではの体験をいっぱい楽しむことが
出来ました。

大成功!!

(保育園やお家でお留守番をしてくれた子どもたちのおかけです。ありがとうございました!!)

～ 保育園給食における事故について ～

保育園で「りんご」をのどにハマらせるといった事故が報道されています。今回の報道を受けて改めて安全に給食を提供する上で気をつけなければいけないことなどを園内でも見直しました。給食担当者としては、国や市などが出しているガイドラインから、

『完3期(おおむね1才～1才半頃)までは「りんご」及び「梨」は加熱して(煮て)提供する。ミニトマト等の球状の食品は4等分する・調理してやわらかくするなどして提供する。』

といったことを再度確認し合いました。

調理において窒息するリスクを減らすと同時に、園では各クラスにおいて、食べている時の子どもたちの姿勢であったり、集中して食べているか、何か物を口に入れたままで走ったり・笑ったり・泣いたり・声を出したりしてはいけないかなど大人が見守ることによって窒息・誤飲のリスクを取り除いていきたいと思っております。

ご家庭においても食べる時の姿勢やしっかり座って食べることに集中しているかなど改めて見直して頂けると嬉しく思います。

※先月、京都市の管理栄養士の方とお話しさせて頂く機会があり、この報道についても話したのですが、「りんご」が悪者のようになってしまふのは悲しいですねとおっしゃっていました。りんごは「医者いらず」と言われる程体に良い果物として知られています。秋から冬にかけて旬を迎えるので保育園でも食べたいなと思っています。子どもたちの安全を第一に考えた上で、調理・保育それぞれがやるべきこと・出来ることをしっかり行っていきたいと思っております。

☀️梅雨明けを前に、朝から暑い日が続いています。子どもも大人も熱中症に十分気をつけ、水分補給もこまめに行いましょう!!!